

シンポジウム

◆ サステナブルな社会と知的財産: 持続的な社会を実現するための知財創出・保護・利活用◆

【概 要】

日本知財学会の大会テーマ「サステナブルな社会と知的財産」の下、本シンポジウムでは「ファッション業界」における「サーキュラーエコノミー」に焦点を当て、パネル討論を行います。

「ファッション業界」は従来、「買い換え、買い増し/買い足し、買い揃え」を中心に、技術革新と流行プロモーション等の「陳腐化」戦略によって「大量生産・大量消費・大量廃棄」を続けてきた典型的な「リニアエコノミー：線形経済」産業です。

- ・「“ファスト”ファッション」は、21 世紀に入ってから 20 年の間に、その生産数を倍増させたものの、半分は売れ残ってしまいました。それを焼却と埋め立てで処分したために、大批判を浴びています。
- ・天然素材（例えば綿花）の生産は土壤汚染を招き、化学繊維の生産は石油消費と CO2 排出を加速させてしまいます。
- ・リユース段階を飛ばしたりリサイクルへの持ち込みは、資源の有効消費にはならないと批判されています。
- ・実際に生産受託する途上国における過酷な労働実態は、多くの不買運動等を生み出しています。
- ・グリーンなふりをして実際にはたいしたことをしていない場合、それは「ウォッシング」と呼ばれますが、この批判表現が始まったのもファッション業界からだと言われています（逆に、環境配慮型のブランドの人気は高まっています）。
- ・現在、欧米を中心した業界の「健全化」活動が加速しています。

サステナブルな社会構築のために資源の適切活用が叫ばれる中、世界は「サーキュラーエコノミー：資源循環経済」に向けて動いています。しかし我が国では、この概念を 3 R (Reduce・Reuse・Recycle) を中心にした「廃棄物対策・環境問題対応」だけでしか捉えていないのではないのでしょうか。むしろ産業・ビジネス観点で「資源枯渇対策」として「資源生産性」「使い続け」を軸にした「イノベーションターゲット」としてとらえるべきではないのでしょうか。

そこで、ファッション業界を例にとって、今後の「サステナブル社会と知的財産」の関係を捉えることにしました。キーワードは「資源生産性」「技術とイノベーション」「使い続けと社会文化」です。そこで、パネリストとして、繊維分野で資源枯渇問題に取り組む Spiber (株) の菅原潤一氏、国内外のファッション業界動向に精通する (株) アパレルウェブの千金楽健司氏、そして長年にわたり「サーキュラーエコノミー」の研究・啓発を行っている産学連携推進機構の妹尾堅一郎氏をお招きしました。

多様な産業への問題提起と示唆をぜひ汲み取ってください。

シンポジウム

◆ サステナブルな社会と知的財産：
持続的な社会を実現するための知財創出・保護・利活用◆

【パネリスト略歴】

菅原 潤一 氏

(Spibe 株式会社 取締役 兼 代表執行役)

慶應義塾大学政策・メディア研究科博士課程修了。

2007年9月大学院在学中、スパイバー株式会社

(現 Spiber 株式会社) を関山和秀氏と共同設立。



持続可能な社会の実現に向け、原料を枯渇資源に頼らない構造タンパク質
「BrewedProtein™素材」の産業化を目指す。

妹尾堅一郎 氏

(NPO 法人産学連携推進機構 理事長)

慶應義塾大学経済学部卒業後、富士写真フイルム株式会社

勤務を経て、英国国立ランカスター大学経営大学院博士課程

満期退学。産能大学助教授、慶應義塾大学大学院教授、

東京大学先端科学技術研究センター特任教授の他、九州大学、一橋大学大学院MB

A等の客員教授を歴任。日本知財学会諮問委員(前理事)。CIEC(コンピュータ利

用教育学会)終身会員(元会長)。研究・イノベーション学会参与(元副会長)。

内閣知的財産戦略本部専門調査会会長、農水省技術会議委員、警察庁政策評価研究
員等を歴任、複数企業の社外取締役を兼務。著訳書多数。

現在も東京大学で大学院生を指導。また、企業研修やコンサルを通じてビジネス
モデル、知財マネジメント、資源循環経済等の研究・啓発活動を実践中。



シンポジウム

◆ サステナブルな社会と知的財産:
持続的な社会を実現するための知財創出・保護・利活用◆

【パネリスト略歴】

千金楽 健司 氏

(株式会社アパレルウェブ 代表取締役 CEO)

中央大学商学部卒業後、中堅インナーアパレル会社に入社、専務を務める。自らの経験から、アパレル業界における IT 活用の必要性を実感し、2000 年、アパレル業界向け情報サイト運営やアパレル企業へのウェブマーケティングメニューの提供をビジネスモデルとした『株式会社アパレルウェブ』を設立。



会社設立からの 24 年間で、のべ 1,000 社以上のアパレル企業へウェブコンサルティングや EC サイト構築支援をはじめとするワンストップ型デジタルマーケティングメニューの提供を行う。

【モデレータ略歴】

小川徹氏

(株式会社 JMDC リスクマネジメント室 法務知財グループ)

2019 年ブランド経営分科会発足。代表幹事として、同分科会の運営を行う。その他、Fashion Law Institutes Japan 研究員。

